

おくたま 町議会だより



139号

平成 18年 11月 5日
発行 奥多摩町議会
電話 (0428)83-2111

第3回定例町議会

平成17年度 各会計決算を認定

第3回定例会は、9月8日から27日までの会期20日間にわたって開催され、議案19件をいずれも原案どおり可決しました。

また、平成17年度一般会計を始めとする各会計9件の予算は、定例会初日に提案され、延べ4日間に渡って行われた、代表監査委員による決算審査の審査報告の後、議長と議会選出監査委員を除く12名で構成する決算特別委員会を設置し、審査が付託されました。審査では、決算特別委員長報告にもあるように、様々な質疑、提言がなされました。この後、反対と賛成の討論があり、採決の結果、全会計とも原案のとおり認定しました。

監査委員決算 審査意見報告

定例会初日に町代表監査委員・堀口泰宏氏により、平成17年度の決算審査の意見報告が行われました。（町長への審査意見書を要約し掲載。）

審査意見

一般会計

歳入で1.2%、歳出で1.0%前年度に比べ増加した主な理由は、福祉会館の改築、老人デイサービスセンターの建築及び体験農園施設の整備やシラ被害対策などが大幅に増加したものである。

一方、人件費は0.1%の減で、行政改革の成果が現れ

評価でき、今後も行政改革実施計画に基づき着実に実施されるよう希望する。徴税などの収納率は改善する傾向にあり、職員の努力がうかがえ、更なる努力を望む。

また、17年度は町制施行50周年の年にあたり、多くの記念事業を通じて、町外に向け町を十分にPRできたものと考えられ、今後期待している。

都民の森管理運営事業

特別会計

指定管理者制度の導入に伴い、17年度は利用料収入に依りて運営する利用料金制度が実施された。職員の意識改革はもとより、事業の趣旨を十分に認識し、更なる努力を望む。

現在、様々なイベントを通じて利用客の拡大に努めているが、併せて地域の振興という側面を考慮しながら、自主、自立の精神で運営することを希望する。

山のふるさと村管理運営事業特別会計

本会計も都民の森と同じく利用料金制度を導入し、また特別会計とし指定管理者制度に備えた。

現在、利用者の増加を図る目的で、関係者による対策会議を開き検討を行っているが、魅力のあるイベントの開催などにより、利用者の拡大と経費の節減等、一層の内部努力を望む。

国民健康保険特別会計

保険税について、資格者証の交付など滞納者対策に効果を上げ、また収納努力により徴収率が上がっているが、未収金の解消と発生を抑止に最大限の努力を望む。

平成17年度以降の税制改革により、納税者の立場に立って課税方式を18年度から変更したことにについては理解できる。適正な保険税の確保に努め、一般会計からの繰り入れを抑制するよう対策を講ずべき。

医療費は依然として増加傾向にあり、疾病予防事業や健康増進事業等の町事業と連携し、医療費の抑制に努力されることを望む。

老人保健特別会計

法改正により75歳以上の高齢者が対象になったことにより、受給者数、受診件数、年間医療費のすべてが減少した。逆に、年間一人当たりの医療費は増加している。

医療制度改革により、「後期高齢者医療制度」が平成20年からスタートするので、国保会計同様、制度改正、医療費の動向を注視しながら予防活動に力点をおき、医療費の抑制に努力されることを望む。

介護保険特別会計

対象者へ制度が定着した感がある。保険給付費は制度開始後初めて前年度を下回ったが、施設利用者の減少と自己負担が大きくな要因となっている。

平成17年度の法改正では、増え続ける介護給付費を抑制するため、介護予防重視型システムへの強化が図られ、「地域支援事業」が本年度から実施される。今後とも介護予防の強化を図り、小規模町村の財政負担の軽減に積極的に取り組むよう希望する。

下水道事業特別会計

平成17年度は前年度に引き続き市町村設置型浄化槽整備事業により、日原地区の整備を完了した。奥

多摩処理区の整備については、地域再生法に基づき計画の認定を取得し、今年度から事業がスタートした。膨大な経費と技術力を必要とするところであり、今後いろいろな困難があると思われるが、国、都に財政面や技術力の支援を要請し、町民が1日も早く公共下水道の恩恵が受けられることを望む。

国民健康保険病院事業会計
平均入院患者、外来患者数ともに大幅に落ち込んでいる。収益的収支は一般会計からの補助金を補填しても、さらに1千万円強の赤字決算となり、繰越利益剰余金で補填している。歳出の見直しを行い、経費の節減等について取り組んでいるが、経営は非常に厳しい。また、住民からの要望が多い眼科診療等、実現に向けて更なる努力を期待する。

往診の充実や診療時間の拡大等、利用者へのサービスの向上や増加対策も、

検討する必要がある。地域医療の核としての役割は重要であり、収益の確保が急務である。

水道事業会計

水道事業会計
給水収益は減少しているが、主に料金改定と人口減によるものと考えられる。また、依然として一般会計からの多額の補助金に依存している状況であり、経費の削減になお一層の努力を望む。

使用料が都営水道並みに改定されたことは、都営水道一元化へ向け、利用者から一定の理解が得られたものと受け止められ、早期に実現することを期待する。

総括・結び

平成17年度で計画した事務事業は、ほぼ予定通り執行できたと感じたが、市町村合併が推進される中で、当町のような小規模自治体が自立して生き残っていくことは、幾多の困難が予想される。今後とも、「生涯を健康で自立して

ともに生きる町」の実現に向け、職員の更なる奮起を期待する。

また、平成18年度は一般職の民間経験者の採用が予定されており、職場の活性化、刺激等期待ができる。また、成績主義の導入や、反面、職員の再教育も検討すべきであり、課、係の連携を密にし、仕事の能率を上げることが必要であると考えられる。

以上、毎例月の出納検査、現場調査を含め審査を行った結果、新しい施策への意欲と主要事業への取り組み等、予定通り執行されたものと結論付ける。

カット

決算特別委員長
報告

各会計とも質疑を箇条書きで掲載

一般会計

歳入

- ・ 不能欠損と未収金の状況は
- ・ 債権の回収は税が最優先ではないか
- ・ 税制改正の見通し
- ・ 三位一体の改革、地方への影響は

- ・ 地方交付税と税源移譲の見通し、国庫負担金の見直しによる影響は
- ・ 都市町村総合交付金の見直しは
- ・ 町債と公債比率の現況と見直しは
- ・ 等の質疑がありました。

歳出

- ・ 行政改革の成果と実績
- ・ 臨時職員の増加は住民サービスの低下を招かないか

- ・ まちづくりひとづくり支援事業の成果と対応は
- ・ 森林セラピー事業の調査結果と基本構想の内容は
- ・ 過疎バス補助金の内容と路線変更は可能か
- ・ 福祉会館はシックハウス症候群の心配はないか
- ・ ホームヘルプサービスなど、在宅高齢者福祉の充実を
- ・ 地域ネットワークづくりの検討を
- ・ 高齢者火災安全システムと緊急通報システムの実績は
- ・ 少子化対策の総合的な推進を
- ・ 障害者自立支援法の施行に伴い、自己負担が増額するが、町の対応は
- ・ 坂道の手すりの設置の実績と見直しは
- ・ 国民年金の加入と未納の状況は
- ・ 基本健康診査の受信率が低く、積極的な受診勧奨を
- ・ クリーンセンター全般

- ・ の耐用年数と見直しは
- ・ ごみの分別収集の状況は
- ・ 子育て支援協議会の充実を
- ・ 放課後児童健全育成事業の内容は
- ・ 資源回収を奨励し、ごみの減量化を
- ・ 体験農園の開設の見通しは
- ・ 昭島の森設置に伴う町内の宿泊状況は
- ・ 松くい虫の駆除状況は
- ・ 駆除事業は場所を選定し効果的に実施すべき
- ・ 畜産事業の今後の方針は
- ・ 落石を防止する観点から、天然林保全事業を検討すべき
- ・ シカ肉加工施設の供給状況は
- ・ シカ被害跡地復旧造林事業の実績とモノレール設置工事の状況は
- ・ 花粉症対策事業の実績
- ・ 花の里事業の実績と日照権事業との連携は
- ・ 観光協会に対する指導・改善を
- ・ 国道・都道・町道の安

- ・ 全対策は
- ・ 町道建設計画は
- ・ 栃久保地内の宅地分譲と住宅マスタープランの概要は
- ・ 消防団運営交付金の算定方法は
- ・ 避難場所案内板設置工事の内容は
- ・ 消火栓取扱訓練の充実を
- ・ 多摩川及び奥多摩湖インクライン水利の状況は
- ・ 社会教育の各種講習会、研修会の参加状況は
- ・ 木村奨学会の「奥多摩作文コンクール」応募作品を文集化する考えは
- ・ 日原森林館の入館状況は
- ・ 町体育協会に対する支援の充実を
- ・ 防犯ブザー、子ども110番の家の状況は
- ・ 子どもたちに郷土芸能の継承の対応を
- ・ 美術館等の特別展や展示替えの工夫と、文化団体の意識の高揚を
- ・ 発掘品や寄贈絵画の管理の充実と、収蔵庫の検

討を
等の質疑と提言がありま
した。

都民の森管理運営事業
特別会計

特に質疑はありませんで
した。

山のふるさと村管理運
営事業特別会計

特に質疑はありませんで
した。

国民健康保険特別会計

・ 後期高齢者医療制度の
国民健康保険への影響
は
との質疑がありました。

老人保健特別会計

特に質疑はありませんで
した。

介護保険特別会計

・ 在宅介護の充実と低所
得者の優遇措置の充実
を
との質疑がありました。

下水道事業特別会計
特に質疑はありません
でした。

国民健康保険病院事業
会計

・ 診療報酬改定による影
響額は

・ 経営改善について抜本
的な解決策は
等の質疑がありました。

水道事業会計

・ 都営水道一元化の進捗
状況と今後の対応は
との質疑がありました。

以上、9会計決算につい
て活発、かつ積極的な質疑
と、貴重な提言が行われる
とともに、町理事者から詳
細な説明や建設的で前向
きな答弁が行われ、いずれ
も原案のとおり認定すべ
きものと決定しました。

決算特別委員会委員長

増 田 ひさ子

決算に対する討論

決算特別委員長報告の
後、採決を前に、一般会計
のみ反対・賛成それぞれの
立場から討論が行われま
した。

反対 国の行財政改革に
よる、特に税制改革は国民
にとって大幅な負担増と
なり、まさに住民生活が破
壊されるといふ状況であ
る。町の財政への負担も増
加し、経常収支比率や公債
費率の悪化は、財政の硬直
化が進んでいることの現
れである。

町財政において東京都
の支出金が占める割合は
非常に大きく、都政に向け
た取り組みの強化、調査研
究により、予算の確保の強
化を図る必要があり、強く
要求する。

福祉を含め、一定の充実
した部分も見られるもの
の、町の活性化という点で

はまだまだ不十分で、町長
を先頭に職員の姿勢を問
うものである。住民の目線
に立った、立場に立った姿
勢を貫くことを要求する。

さらに少子高齢化の問
題、学校間で格差が拡大す
る教育問題、水道の一元化
や多額の起債を予定して
いる下水道の問題。国・都
に対してもっと積極的な
支援や援助、補助金等の拡
大に努めていくことが求
められている。

賛成 地方交付税が大幅
に削減されていることは
憂慮すべきことであるが、
都の厳しい財政状況にあ
っても、当町の実情を理解
していただき、振興・調整
交付金等の確保に努め、歳
入、歳出ともに増額決算と
なったことは、関係者の努
力に敬意を表すところで
ある。

事業では老人デイサー
ビスセンターの建設、グリ
ーンツーリズム事業の施
設整備等、積極的な事業執
行を行うとともに、職員の
定数管理の適正化等、厳し

い内部努力を高く評価す
る。町税の収納率も向上し
たとの報告もあり、今後も
住民負担の公平、公正を堅
持するためになお一層の
努力を期待する。

構造改革に伴う厳しい
財政状況の中、住民に信頼
され、生涯を健康で自立し
てともに生きる町づくり
向け、行政と議会が力を合
わせ、なお一層の努力をし
なければならぬと思う
ところである。

町長提出 議案と結果

次の議案が提出され、い
ずれも原案のとおり可決
又は同意しました。

条例等

介護保険地域支援事業
利用者負担条例
福祉会館の筋力トレーニ
ング施設やデイサービス
などの、利用者負担金額が

決定されました。

長期継続契約の締結に
関する条例
法による長期継続契約
を締結できる範囲が改正
されたことに伴い、条例が
制定されました。

国民健康保険条例の一
部を改正する条例
福祉会館条例の一部を
改正する条例
下水道条例の一部を改
正する条例

指定管理者の指定につ
いて（指定期間3年）
蕎麦懐石丹縄
（有限会社 藤野）
特産物加工体験施設（鴨
足草）
（イエロー）

奥多摩温泉足湯施設整
備工事請負契約につ
いて
奥多摩処理区下水道管
渠建設工事その3請負
契約について

補正予算

人 事

会 計 区 分（補正回数）	補 正 額	補 正 後 の 額
一 般 会 計（2）	68,244千円	5,553,844千円
都民の森管理運営事業特別会計（1）	予算科目間の組み換え	68,955千円
国民健康保険特別会計（1）	56,087千円	707,127千円
介護保険特別会計（1）	34,994千円	678,894千円
下水道事業特別会計（1）	予算科目間の組み換え	1,084,000千円
水道事業会計（1）	収益的収支	4,487千円
	資本的支出	2,723千円
		192,187千円
		157,506千円

農業委員会委員の推薦
濱野芳男氏、原島和男氏
の任期満了に伴い、その後
任として、同じく両氏を推
薦するものです。

教育委員会委員の任命
荒沢 弘氏の任期満了
に伴い、その後任として、
小峰洋治氏を任命するこ
とに同意しました。
・小峰洋治氏
（氷川304番地）

その他
過疎地域自立促進計画
（平成17年度から平成
21年度）の一部変更につ
いて

陳情の取り扱い

採択としたもの

上限金利の引き下げ等
により、中小零細事業者・
消費者等の健全な生活を

守り、多重債務問題根絶の
ため、「出資の受け入れ、
預かり金及び金利等の取
締りに関する法律」及び
「貸金業の規制等に関す
る法律」の改正を求める陳
情書

議員提出議案
（意見書の提出）

次の2件が、原案どおり
可決され、国の関係機関等
に対し意見書が提出され
ました。

出資法及び貸金業規制
法の改正に関する意見
書

全国森林環境・水源税の
創設を求める意見書

一般質問

平成18年9月議会では、
13日の第2日に7名の議
員が質問を行いました。
（通告順）

原島國蔵議員

町職員の倫理規定の条例制
定を

（答）ご提言とさせていた
だけ、今後とも倫理の徹底、
資質の向上を図っていく

原島 職員は常に倫理感
に燃え、姿勢を正して職務
に精励することが大切で
ある。倫理規定の条例を制
定し、適正な職員管理をす
る考えはないか。
町長 職員のサービスの原則
として、職務に従事する場
合サービスの宣誓を行う義務
があり、当町においても条

例に基づき服務の宣誓を行っている。

また、職員には様々な義務が責務として課せられており、義務違反があった場合には懲戒処分として、戒告、減給、停職又は免職の処分があり、服務規律の確保についても、綱紀粛正の周知や職員研修等により、その趣旨の徹底を図るとともに、現在も意識改革の啓発に努めているところである。

山ふるの岬沢橋の片側通行が長期化しているが復旧の見通しは

（答）長らくご不便をおかけしているが、平成19年度に改修工事が実施される

原島 都の施設ではあるが、来訪者のイメージダウンにもつながり、早急に復旧工事が必要であることを感じている。復旧の見通しは。

町長 昭和48年に山のふるさと村建設に伴い設置され、既に33年が経過して

いる。平成16年から信号機による片側通行となっており、来園者のスムーズな通行と安全確保のため、早期復旧を奥多摩自然公園管理センターに要望している。

東京都では、この6月に現地調査を行い、平成19年度に改修工事を予定しているとのことである。

竹内和男議員

観光サービス体制のありかたについて

（答）観光においても自立を具現化できるように取り組んでいきたい

竹内 どんなに良い計画ができて、現場の受け入れ態勢が整っているかどうか疑問。町が関連している事業についても、現状の把握と今後の対策を早急に検討することが必要。

町長 観光ビジョン策定委員会は、来年度までの2

か年度で、新たな観光地づくりに向け、従来型の施設観光のありかた、観光イベントの見直しを含めた検討、観光従事者等の体制や後継者対策など、幅広い分野で町内・外から見た視点、先進地等の動向を踏まえ検討を行い、短期的な課題、中期的な課題等を整理して、実行可能なビジョンの策定を行うことを目的に行っている。現場の受け入れ態勢についても、策定委員会の中で引き続き検討を行っていく。

町が直接かわっている施設の問題等については、その都度管理者から報告されており、適切な対応がなされているものと理解している。

観光立町を標榜する当町にとつて、観光においても自立の精神が必要であり、真の観光は現場の皆さんが中心となり、創意工夫や団結、また観光立町の一人としての自覚を持って、振興を図っていくものだと思います。「自分たち

でできることは自分たち

で」「自分たちでしなければならぬことは自分たちで」という、自主自立の住民自治を具現化できるよう、取り組んでいきたい。

鈴木賢一議員

高齢者筋力増強トレーニング施設の活用を活発に、そして、そこに作業療法士を

（答）奥多摩病院や社協、社会福祉施設と連携を密にし、予防重視の地域支援事業を展開していく

鈴木 福祉会館の中に、高齢者の介護予防のため筋力アップのトレーニング施設ができたが、施設の有効活用と作業療法士の配置はできないか。

町長 介護保険法の改正により新たに施行された地域支援事業は、高齢者を対象としていたが、福祉会館でのトレーニングは、現在1回2時間、1人100円で一般解放を行っている。

同事業は他に、川井・峰谷地域で行っている地域巡回デイサービスが、月4回の利用で月額千円、グリーンウッド奥多摩・森の時計で予定している送迎対応型デイサービスが月額2千円、配食サービスが1食700円、他のサービスも低額の自己負担で利用できることになった。

なお、筋力アップトレーニングはリハビリテーションではないので、作業療法士等の配置は考えていないが、予防を重視し事業展開をしていく。

小澤春義議員

防災意識の徹底について

（答）森林保全事業を継続的に実施することが、自然災害の防止に繋がる

小澤 荒廃した森林の整備事業の進捗状況と、災害対策としての山林整備について考えを問う。

町長 シカ被害跡地復旧造林では、現在まで22・5ヘクタールを実施しており、今後38ヘクタールを実施する予定。多摩の森整備事業では、17年度までの4年間で1千231ヘクタールの間伐を実施している。

災害対策としての山林整備は、下草も生えず表土が流出し、土石流の発生の原因となることが度々報告されていることから、多摩の森再生事業を継続的に実施し、森林の公益的機能を回復させることが、自然災害の防止に繋がるものと考えている。

増田ひさ子議員

冠婚葬祭費の簡素化で経済的負担の軽減を推進しよう
．．．．．
(答) 大変難しい問題。各地域の盛上りに期待したい

増田 年金生活者等にとつて、冠婚葬祭費の出費は経済的負担が大。町として

簡素化を図る施策を。

町長 過去には新生活運動として、全町的に実行された経緯もあるようだが、個々の考え方や慣習によりその後継続せず、大変難しい問題と考えている。
今後、その雰囲気づくりと、各地域からの盛り上げを期待したい。

前田悦男議員

奥多摩あたご山周辺の景観整備について
．．．．．

(答) 周辺の観光拠点との連携を図るべく、関係団体等と協議を進めていく

前田 あたご山周辺の景観整備により、観光の活性化を図る考えは。以前整備した「創造の森」の再活用の構想はあるか。森林セラピー事業との融合により、奥多摩総合グラウンドからあたご山周辺、もえぎの湯及び海沢、白丸地区のより豊かな地域づくり

の構想を持つべきと思うが、町の考えは。

町長 現在、この山の管理は東京都環境局が行っているが、手入れ不足により草木が繁茂し、遊歩道も荒廃し始めていることから、整備を依頼したところ、「(仮称)登計園地・愛宕山地域連絡会」設置の打診を受けた。設置目的は、地元要望や整備方法、隣接する観光拠点、森林セラピートレイルなども連携が図られる整備を行いたいという趣旨である。

連絡会は、環境局が事務局を行い、委員として地元組織・関係者、JR、環境省、町、都関係局等で組織するとしている。創造の森の活用も含め、連絡会で協議を進めていきたい。

島崎利雄議員

高齢者への増税、社会保障、医療改悪への対応を
．．．．．

(答) 法改正により負担増

となる場合もあるが、負担を抑える方策をPRしていきたい

島崎 住民税非課税から課税とされた住民の数、国保税、介護保険料等への影響と負担増の内訳は。混合診療の導入により、70歳以上の高齢者の負担増の見込みは。現行の税金軽減制度を最大限に活用せよ。

町長 住民税非課税から課税とされた人数、負担増は、平成18年度で312人、31万2千円となった。国保税や介護保険料についても同様に増加している。税負担を抑えるためには、高齢者でも申告をしていただくことが大変重要になる。混合診療は、保険対象医療と保険外医療を併用した診療のことをいい、新制度では逆に患者負担が軽減される場合もある。

自己負担が1割から2割になった人が26人であるが、経過措置により外来月額4万200円が1万2千円となっている。

少子高齢化について
．．．．．

(答) 様々な施策に積極的に取り組んでいく

島崎 次世代育成支援行動計画の進捗状況は。国政・都政からの施策、財政支援などは。次世代育成支援対策地域協議会の活動状況は。今後の取り組み、計画、問題点は。出産祝金の廃止ではなく、充実、改善によることで継続を。

町長 子ども家庭支援センターの開設、ファミリーサポートセンター事業の開始、氷川保育園施設整備の支援、小学生の医療費無料化等、行動計画に基づき着々と実施している。都では、今年度から補助制度を再構築し、「子育て推進交付金」を創設した。小規模町村は補助金の減額が危惧されたが、粘り強い交渉の結果、前年並みとすることができた。既に存在している「子育て支援協議会」に、引き続き

議会日誌

き活動をお願いしている。今後は利用する側に立って、サービス体系を一本化し、課・係の連携を強化していく。

昨年12月議会で廃止を決定いただいた。小学生までの医療費無料化に移行したものと、ご理解いただきたい。

鈴生りの林檎（海沢）

- | | |
|-----|------------------------------------|
| 17日 | グリーンウッド奥多摩敬老会 |
| 19日 | 第10回特別委員会 |
| 20日 | 決算特別委員会（第1日） |
| 22日 | 決算特別委員会（第2日） |
| 23日 | 古里中学校運動会 |
| 24日 | 青梅・奥多摩交通安全のつどい |
| 27日 | 第3回定例会（第4日） |
| 29日 | 第11回特別委員会 |
| 30日 | 古里小学校運動会 |
| 1日 | 氷川小学校運動会 |
| 3日 | 西多摩郡ゲートボール大会第2回臨時会 |
| 6日 | 第3回・第4回特別委員会 |
| 11日 | 第12回特別委員会 |
| 13日 | 東京都町村議長会臨時総会 |
| 19日 | 第3回臨時会 |
| 20日 | 町議会たより編集委員会 |
| 23日 | 首都圏中央連絡自動車道建設促進会議 |
| 24日 | 三多摩上下水及び道路建設促進協議会（第2委員会） |
| 1日 | 西多摩地域広域行政圏協議会審議会 |
| 3日 | 東京都町村長議会議長合同会議 |
| 9日 | 第7回山のふるさと村管理運営委託費調査特別委員会（以下、特別委員会） |
| 21日 | 三か町村連絡協議会 |
| 23日 | 第8回特別委員会 |
| 24日 | 圏央道を促進する議員ネットワーク視察研修会 |
| 28日 | 第9回特別委員会 |
| 9月 | |
| 5日 | 議会運営委員会 |
| 7日 | 消防団第2分団激励 |
| 8日 | 第3回定例会（第1日） |
| 10日 | 西多摩地区消防団連絡協議会幹部研修会 |
| 11日 | 連合審査会・各常任委員会 |
| 13日 | 第3回定例会（第2日） |
| 15日 | 第3回定例会（第3日） |

- 25日 北京市区・県人民代表 大会友好代表団歓迎会
- 31日 西多摩地区議長会

町民の皆様へ

既にご承知のとおり、公職選挙法の規定により（答礼のための自筆のものを除き）年賀状をお出しすることができなくなっています。

町民の皆様のご理解をいただきますとともに、新しい年が皆様方にとりまして、ご多幸の年でありますようお願い申し上げます。

編集後記



奥多摩の紅葉も今がピーク、連日観光客で賑やかです。5年ぶりに安倍新政権も誕生し、美しい日本の実現に向け、期待するところでもあります。

9月の決算議会も無事に修了しました。待望の公共下水道工事も、今年から第一期工事が着工となり、第二期工事も含めて十年後には全町が供用開始となり、名実ともに清流の町として、都民の水道水源地として誇れる町となります。

既に日原地区の合併浄化槽が完備され、日原川の水がきれいになってきました。役場の窓からも、川ノリのついた石を見ることが出来ます。

今後とも、議会活動に対し、ご意見をお寄せください。お待ちしております。

（原島 國威） 鈴木 賢一
小澤 春義 澤本 章
増田ひさ子

百条委員会終了

山のふるさと村管理運営委託費調査特別委員会が、10月11日にすべての調査を終了し、10月19日の臨時議会において、その報告がなされました。

詳細については、近日中に町議会たより臨時号でお知らせします。